

ROTARY CLUB OF

KANAZAWA-NORTH



金沢北ロータリークラブ

例会日：木曜日 12:30～13:30

例会場：卯辰山・ホワイトハウス

事務局：金沢市尾山町9-13・金沢商工会議所

TEL <0762> 63-1151

会長：岡田 林太郎 幹事：釣見 栄一

情報委員長：清水 忠

1977・11月17日 第102号



## キャンバスと九谷焼

洋画家 吉田 富士夫 氏

石川県の美術人口は、全国でも有数の密集地帯である。又伝統工芸に携わりながら絵を画く作家も極めて多い。

しかしそのみを職業とする画家は極めて少なく、いかにこの世界が厳しいかが伺えよう。

コメ粒に絵を画くという繊細な技術？を得たことで、私と九谷絵付との結び付きが始まった。それは、その手法が細かな手仕事の代表と称されている九谷焼の細画“飯田屋風”と共通したものがあったからだと思われる。

江戸時代、日本の美術品の中で、ヨーロッパの美術に大きな影響を与えたものが二つある。一つは印象派美術運動のきっかけとなった浮世絵。今一つは有田（柿右衛門）焼、と伊万里焼である。この絵付磁器が18世紀当時、宮殿の中心となっているロココ趣味と合致し多数の焼物が海を渡った。

この磁器を再現しようと、スペインのドン・ホセ氏との出会いもそうした絵付と洋画の関係からであり、出来上がった作品もスペインと九谷との真しく結合したものであった。

この様な新しい試みを別にして、ヨーロッパの人々は古典的、伝統的な絵を喜び又作成している。ヨーロッパ文化の基本となるものは合理主義だが、油絵のテクニックにもそれがある。明治以降日本では、表面的なものが多く油絵の質そのもの……太陽光線、排気ガス等にもろい。何世紀経ても変わらないもの、それはヨーロッパ人と日本人の体力の差にも比例するのだろうか。

最近、精神的な感動を受け入れる機運が徐々に広まりつつある。一時のブームが去った後、今まで美術に感心がなかった人が興味を持ち始めた。嬉しい事ではある。

—金沢北RC例会講話より— (文責 米沢修一)

## 私の一年間 (2)

交換学生 中島 信子



クリスマスは、盛大に行なわれ、私の2倍程もあるクリスマスツリーに一日がかりで、全員で飾りつけしました。クリスマスパーティー・クリスマスプレゼントなど、とても楽しい一時でした。新年を迎えた時、日本の両親に電話をかけました。急におぞうにを食べたくなり、ちょっとホームシックにかかりました。

2月～4月。FLETCHER家に戻りました。このころになると辞書を引くこともほとんどなくなり、授業もだいたい分かる様になりました。8ヶ月を過ぎると

持って来た洋服が窮屈になり新しい物を買ったのもこの頃でした。

3月の間に幼稚園や小学校などに日本について説明しに行ってきた。帰る時、皆が自分たちで画いてくれた絵をプレゼントされたり、何人もの子供たちが「僕、大きくなったら日本に行きたいな」って言われた時、本当に感激しました。本当に来て良かったと思いました。

4月の春休み中に、NEW YORK CITYの方に行ってきた。自由の女神、エンパイア・ステイト・ビルディングなどをこの目で見てきました。まだ信じられないくらいです。

5月～7月。最後のホスト・ファミリー HOFFMAN家に移りました。ここの家庭には男の子三人がいましたが、私が一番上になることになりました。テニスコート、プール、卓球台などがあり家族全員で夏を思いっきり楽しんできました。この家庭で学んだ事は働く者にしか、おこずかいがあたりず。自分で行きたい道は自分のこの手で切り開いて行くということでした。

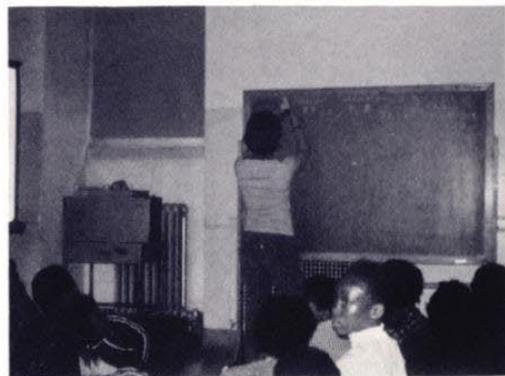
6月30日。高校三年に入った私は無事、卒業式を迎える事ができました。卒業証書をこの手でもらったあの感激、一生忘れません。

約9ヶ月の学生生活。英語が分からずくやしくて泣いた時もありましたが、他国の若者と語り合い。スポーツを通じて汗を流し合い。こんなにすばらしい体験をできたこと本当に幸せに思います。勉学の面では日本の方がはるかに上回っていますが、若者の考え方、行動には日本よりもしっかりしている様に思えました。

親元を離れての一年間、いろいろな事を考え、いろいろな事を学び取ってきたつもりです。すばらしい家庭、友だちにも恵まれ、本当に幸せな重みのある一年間でした。皆と別れる時とても悲しくて泣きました。でもまた行きます。行ける事を願っています。この一年間、どの宝石よりもすばらしい輝きと価値のある宝物になりました。

皆様本当にありがとうございました。お陰でたいへん有意義な年を送る事ができました。心から感謝しております。

これからも多くの若者たちがお互いに他国で学べれば、これほどすばらしい事はないと思います。



## 長唄こぼれ話

釣見 栄一

三味線音楽は今日我が日本音楽を代表するものであり、三味線音楽の中心を成しているものは長唄である。長唄には曲の成り立ち、即ち舞踊の地と、唄い物として分れ、更に筋を持つ物語的、筋を持たない抒情的な物に大別されている。特に長唄と囃子によって演奏される素囃子は長唄独自の特色であり、立方や役者のいない舞台上その内容が理解出来る様表現されるのが長唄芸道の奥義となされている。

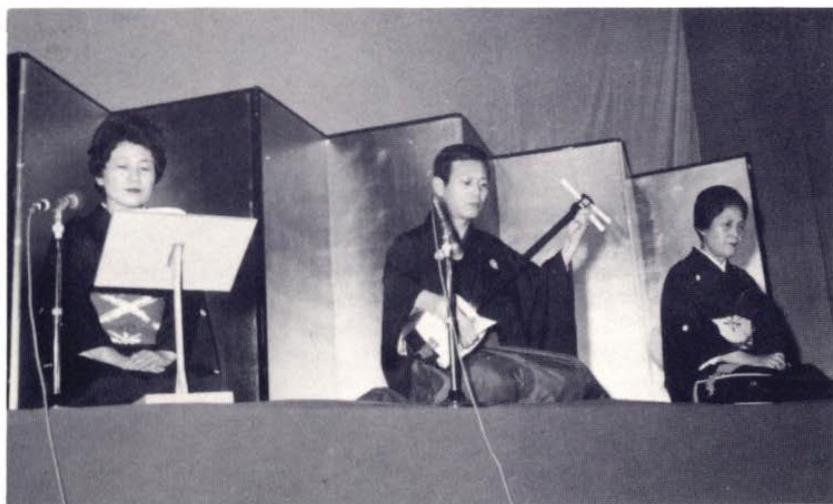
世の中に“〇の虫”とたとえ言葉がありますが一つの道に熱中する人を云う。私が“長唄の虫”にとりつかれたのが昭和二十六年の春、当時私は杵屋弥三市師の門をたゝいていた。弥三市師は七世家元杵屋弥三郎師の直門弟子で、金沢に於ける三味線の名手であった。

“男の方で物好き半分の習い事ならよした方が” 厳しい第一声であった。青二才の私であり、男で三味線をする者のいない時代であったが長唄への深い魅力は私を連日稽古に励ましながら石の上にも三年、初めての発表会に出演した。“天狗になったら芸は終りです” 師匠は私のまづまづの評判を吹き消していた。何クソの根性から稽古を重ねた甲斐あってか、昭和32年4月、家元より杵屋弥栄次郎の免状を受けた。名取になった私への稽古は一層激しくなり、おかげで代稽古も出来る様になった矢先、昭和39年7月、弥三市師が64才の若さで亡くなられ、その師籍をめぐって同門の中でお家騒動らしき小事が起きたが、家元より平素の勉強ぶりによる成果を認められ私が師籍を継ぐ事になった。その日から相弟子を弟子としての立場に変わった時、精神的、肉体的の苦しい芸の道が待っていた。

昭和42年6月、東京で全国弥三郎同門の会が開かれた。私への出し物は“船弁慶”で最もニガ手の大曲である。そのワキ三味線である。ワキはタチ三味線に故障のあった時、その代役を果たす重要な役である。やがて舞台は知盛の幽霊の出現する後半、タテ三味線の大薩摩（豪壯雄大な旋律）の独弾に入った。家元の弾く三の糸がピシッと音を立て切れた。流れ出る汗とも冷汗ともつかぬ物を全身に感じ目の前真暗の私であった。幕がおりた時“よく弾けたね”と家元の柔和な顔があった。

後日、家元の奥様から、難曲である船弁慶の独弾の技能と、その派出さを披露するによって、師籍を継いでいる私への同門弟子の風当たりが少しでもやわらぐ様にとの家元の芸に対するおもしろいやりから、わざと切ったのである事を。

私は長唄一筋に生きる家元の無言の教訓が厳しく温い愛の精神であり、ロータリー哲学の根本である愛の奉仕に大きく連っていると感じる此の頃である。



# 第 203 回例会

(夜間例会)

◆10月27日(晴) ホワイトハウス 18:00~20:00

1. クラブフォーラム

2. 出席 出席28名、欠席18名、出席率60.87%  
ビジター1名(金沢南RC 津田文朔君)

3. 来訪者 (昼受付の部)  
河北RC 森常二君(人絹糸染色)  
金沢RC 竹内外茂君、加藤豊信君  
部坂武久君  
金沢東RC 藤井健君、及川亮君  
金沢西RC 吉川正美君、市原正士君  
黒川存君、進藤太一郎君、辻昭夫君  
金沢南RC 米谷半平君、柿木英夫君

4. 会務 ○国際奉仕委員会  
10月21日開催された5RC委員長会議の報告

5. 幹事報告 ○大場、水野両会員より、日本伝統工芸展招待券を受領。  
○松本会員より、金沢ヘルスセンター入場券を受領。  
○石黒ガバナーより年次大会終了につきお礼状を受領。  
○津田ロータリーの友地区委員(金沢南)より「ロータリーの友」についてアンケートにご協力下さい。

6. ニコニコBOX ○寸志 依外代吉君  
○金沢商工会議所議員に再選されて山岸与作君  
○年次大会欠席を遺憾として飯野健志君  
○寸志 釣見栄一君

7. 今日のニュース 27日、ロンドン・ニューヨークなど外為市場の円相場はついに 250 円を割り込む。為替相場の不安定な状態は当分続くか!



3. 来訪者  
甲府北RC 今井俊雄君 (ホテル)  
新湊RC 京谷政吉君 (冷凍食品)  
富山南RC 大内三郎君 (生命保険)  
金沢RC 坪野俊雄君  
真柄要助君  
竹内外茂君  
横井孝君  
金沢東RC 柿下正雄君

加藤義一郎君、竹松俊孝君  
小菅正夫君、村野信君、東高熙君  
金沢西RC 進藤太一郎君、綾塚修司君  
坂本宗一郎君、市原正司君  
正田秀久君

金沢南RC 柿木英夫君、米谷半平君

4. 会務 ○親睦委員会  
金沢5RC合同懇親ゴルフ大会  
11月13日(日) 9時30分スタート  
於 能登ゴルフ倶楽部

5. 幹事報告 ○第1回理事・役員炉辺会合  
11月16日(水)午後7時~ 於岡田会員宅  
○11月定例理事会 11月17日(木)例会終了後 於ホワイトハウス  
○石黒ガバナーより「ロータリー財団の手引き」を受領。  
○石黒ガバナー、小堀大会委員長よりRI第261地区年次大会協力に対する感謝状を受領。  
○中西県知事より5RC合同事業「ロータリーの森」に対する感謝状を受領。  
○石川県肢体不自由児協会より「愛の年賀はがき」頒布の依頼状を受領。(20枚包200円)

6. 御誕生日祝 平尾信明君、上田忠信君  
7. 御結婚記念日祝 増江泰君、岡田林太郎君  
吉田昭炳君、長野幸雄君、浅田豊久君  
桜井健太郎君

8. 今日のニュース 中国で10万年前の古人類化石とその文化遺跡発掘される。その完全な頭頂骨化石は、北京原人以降、空白となっている人類の進化を探る貴重なカギとなるか!

# 第 204 回例会

◆11月10日(雨) ホワイトハウス 12:30~13:30

1. 講話 “洋画家の仕事”

画家 吉田富士夫氏

2. 出席 出席32名、欠席14名、出席率69.57%  
ビジター20名

## 10月例会出席状況

出席率 (96.74%)

会員名	月日				10月	会員名	月日				10月
	10/6	10/13	10/20	10/27			10/6	10/13	10/20	10/27	
浅田 豊久	M	M	M	○	◎	岡田 林太郎	M	○	○	M	◎
出島 敬識	○	○	M	M	◎	大場 勝雄	○	M	M	○	◎
東元 潔	○	○	M	欠	×	大村 精二	M	○	○	○	◎
平尾 信明	M	○	○	○	◎	桜井 健太郎	M	○	M	○	◎
本江 他美夫	○	○	○	○	◎	沢田 哲夫	○	○	○	M	◎
二木 正樹	○	○	○	○	◎	柴田 三郎	○	M	○	○	◎
飯野 健志	○	○	○	○	◎	清水 忠	○	○	○	M	◎
上笠 間恒	○	○	○	○	◎	塩村 喜代次	○	○	○	M	◎
加藤 悦次	M	M	○	○	◎	庄田 厚郎	M	M	○	M	◎
木島 光仁	○	○	○	○	◎	高田 全	欠	M	○	○	×
小野 隆二	○	○	M	○	◎	依外代吉	○	M	M	○	◎
越野 民男	○	○	○	○	◎	土原 一	○	○	○	M	◎
小杉 守男	○	○	○	○	◎	佃 見栄一	○	○	○	M	◎
小杉 善二	○	○	○	○	◎	釣 上野	○	○	○	M	◎
増江 泰夫	○	○	○	M	◎	若野 三朗	M	M	○	○	◎
益谷 健	○	○	○	○	◎	山上 啓介	○	○	○	M	◎
松本 智博	M	○	○	M	◎	山岸 与作	M	○	M	○	◎
水野 博	○	○	M	M	◎	米沢 繁男	M	M	欠	欠	×
宗田 市太郎	○	○	○	○	◎	米沢 修一	M	○	○	○	◎
長野 幸雄	M	M	M	○	◎	吉田 昭炳	○	M	M	○	◎
中村 省三	○	○	○	○	◎	由井 賢一	M	○	M	M	◎
岡部 三郎	M	欠	欠	○	×	吉山 有海	○	○	M	M	◎